

【大会規則】

規則は各自で自覚をもって守って下さい。

昨年からの変更点には下線が引いてあり、ver.2 での変更点は太字になっています。

<p>開催日程</p>	<p>K耐久</p> <table border="1" data-bbox="411 331 1426 519"> <thead> <tr> <th></th> <th>開催日時</th> <th>決勝時間</th> <th>募集台数</th> <th>申込受付期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1戦</td> <td>3月29日(日) 午後</td> <td>3h</td> <td>36台</td> <td>2月23日~3月9日</td> </tr> <tr> <td>第2戦</td> <td>5月24日(日) 午前</td> <td>3h</td> <td>36台</td> <td>4月20日~5月4日</td> </tr> <tr> <td>第3戦</td> <td>7月19日(日) 午後</td> <td>3h</td> <td>36台</td> <td>6月15日~6月29日</td> </tr> <tr> <td>第4戦</td> <td>10月18日(日) 午前</td> <td>3h</td> <td>36台</td> <td>9月14日~9月29日</td> </tr> <tr> <td>選抜戦</td> <td>12月6日(日) 終日</td> <td>6h</td> <td>18台</td> <td>11月2日~11月16日</td> </tr> </tbody> </table> <p>開催場所は全て「スパ西浦モーターパーク」 選抜戦の台数は別項の規定により変動する場合がある</p> <p>GT耐久</p> <table border="1" data-bbox="411 636 1426 824"> <thead> <tr> <th></th> <th>開催日時</th> <th>決勝時間</th> <th>募集台数</th> <th>申込受付期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1戦</td> <td>3月29日(日) 午前</td> <td>3h</td> <td>36台</td> <td>2月23日~3月9日</td> </tr> <tr> <td>第2戦</td> <td>5月24日(日) 午後</td> <td>3h</td> <td>36台</td> <td>4月20日~5月4日</td> </tr> <tr> <td>第3戦</td> <td>7月19日(日) 午前</td> <td>3h</td> <td>36台</td> <td>6月15日~6月29日</td> </tr> <tr> <td>第4戦</td> <td>10月18日(日) 午後</td> <td>3h</td> <td>36台</td> <td>9月14日~9月29日</td> </tr> <tr> <td>選抜戦</td> <td>12月6日(日) 終日</td> <td>6h</td> <td>18台</td> <td>11月2日~11月16日</td> </tr> </tbody> </table> <p>開催場所は全て「スパ西浦モーターパーク」 選抜戦の台数は別項の規定により変動する場合がある</p>		開催日時	決勝時間	募集台数	申込受付期間	第1戦	3月29日(日) 午後	3h	36台	2月23日~3月9日	第2戦	5月24日(日) 午前	3h	36台	4月20日~5月4日	第3戦	7月19日(日) 午後	3h	36台	6月15日~6月29日	第4戦	10月18日(日) 午前	3h	36台	9月14日~9月29日	選抜戦	12月6日(日) 終日	6h	18台	11月2日~11月16日		開催日時	決勝時間	募集台数	申込受付期間	第1戦	3月29日(日) 午前	3h	36台	2月23日~3月9日	第2戦	5月24日(日) 午後	3h	36台	4月20日~5月4日	第3戦	7月19日(日) 午前	3h	36台	6月15日~6月29日	第4戦	10月18日(日) 午後	3h	36台	9月14日~9月29日	選抜戦	12月6日(日) 終日	6h	18台	11月2日~11月16日
	開催日時	決勝時間	募集台数	申込受付期間																																																									
第1戦	3月29日(日) 午後	3h	36台	2月23日~3月9日																																																									
第2戦	5月24日(日) 午前	3h	36台	4月20日~5月4日																																																									
第3戦	7月19日(日) 午後	3h	36台	6月15日~6月29日																																																									
第4戦	10月18日(日) 午前	3h	36台	9月14日~9月29日																																																									
選抜戦	12月6日(日) 終日	6h	18台	11月2日~11月16日																																																									
	開催日時	決勝時間	募集台数	申込受付期間																																																									
第1戦	3月29日(日) 午前	3h	36台	2月23日~3月9日																																																									
第2戦	5月24日(日) 午後	3h	36台	4月20日~5月4日																																																									
第3戦	7月19日(日) 午前	3h	36台	6月15日~6月29日																																																									
第4戦	10月18日(日) 午後	3h	36台	9月14日~9月29日																																																									
選抜戦	12月6日(日) 終日	6h	18台	11月2日~11月16日																																																									
<p>参加資格</p>	<p>1. 有効な普通自動車免許の所有者であること。 2. 主催者が認めるドライバー。</p>																																																												
<p>参加車両</p>	<p>参加車両は別項の「車両規則」に合致した車両であること。</p>																																																												
<p>参加申込</p>	<p>1. 申込受付期間 上記、開催日程の欄に記載された申込受付期間内に下記の要領で申し込むこと。</p> <p>2. 申込方法 ・必要書類(「参加申込書」と「車両申告書」)に必要事項を記載の上、下記の「GT走行会運営事務局」まで郵送、FAX、またはe-mailで送付すること。 必要書類は公式HPよりダウンロードするか、事務局までご請求下さい。 『申込先』 〒438-0073 静岡県磐田市二之宮東14-17 (株)GT CAR プロデュース内「GT走行会運営事務局」宛て FAX : 0538-37-6678 e-mail : info@gt-produce.com ・参加費用を参加申込書送付から3日以内に銀行振り込みで送金すること。 『振込先』 浜松信用金庫 磐田支店 普通 098186 口座名義 カ)ジーティーカープロデュース チーム代表者と別名義で入金する場合は必ず事務局までその旨を伝えること 振込手数料は参加者負担とする</p> <p>3. 申し込みの成立 参加費用の振り込みをもって正式申込みと見なす。募集台数に達した場合は、正式申込みの順にて受理する。</p> <p>4. キャンセル 申込期間中のキャンセルは事務手数料1,000円を差し引き返金する。 受理書発送後のキャンセルはできない。 指定ピットの位置は、申し込み順に1コーナー側から割り振る。 他チームと隣り合わせのピットを希望する場合は申し込み時に申請すること。この場合、後から申し込んだチームの順番のピット位置となる。</p>																																																												
<p>参加費用</p>	<p>1. 第1戦~第4戦 : ロールケージ装着車両...44,000円(税込み) ロールケージ未装着車両...49,000円(税込み)</p> <p>2. 選抜戦 : ロールケージ装着車両...89,000円(税込み) ロールケージ未装着車両...94,000円(税込み) ロールケージの装着を強く推進するため、装着の有無で参加費の差を設ける</p>																																																												
<p>参加人数</p>	<p>3h耐久は1チームあたり2~6名までのドライバーとする。(6h耐久は4~10名まで) 登録してあるドライバーであれば運転の順番・回数は自由とする</p>																																																												

昨年からの変更点には下線が引いてあります。

<p>クラス</p>	<p>K耐久(軽自動車) 東海シリーズ KNC…軽自動車NA のクローズドクラス KNO…軽自動車NA のオープンクラス KTC…軽自動車ターボ のクローズドクラス KTO…軽自動車ターボ のオープンクラス KWT…軽自動車ワゴン&トラッククラス のオープンクラス 注1:該当車種は大会規則最後尾の別表参照 GT耐久(普通車) 東海シリーズ 1C…「1000cc以下のNA車」のクローズドクラス 1O…「1000cc以下のNA車」のオープンクラス 2C…「1001～1500ccのNAと1200cc以下のターボ車」のクローズドクラス 2O…「1001～1500ccのNAと1200cc以下のターボ車」のオープンクラス 3C…「1501～2000ccのNAと1201～1500ccのターボ車」のクローズドクラス 3O…「1501～2000ccのNAと1201～1500ccのターボ車」のオープンクラス 4C…「2001～3500ccのNAと1501～2600ccのターボ車」のクローズドクラス 4O…「2001～3500ccのNAと1501～2600ccのターボ車」のオープンクラス KR…660cc以下のエンジンを搭載したR車両クラス 注3:R車両の定義は次の項目を参照 全クラスともナンバープレート(車検)の有無は問わない。 ローターリーについては、2ローターNAは3クラス、2ローターターボは4クラスとする。 搭載してあるエンジン型式の、オリジナルの排気量でクラスを判断する。 オープン、クローズドの区分けについては車両規則を確認のこと。 スーパーチャージャーもターボと同解釈とする。 白ナンバー登録してある軽自動車は車両規則に該当するクラスにエントリーすること。</p>
<p>R車両の定義</p>	<p>以下の条件がどれか一つでも該当する場合はR車両となる パイプフレーム又はアルミ/カーボンモノコックフレームの車両 生産モノコック改造の場合に、ロールバー等のパイプ部分を追加して車体の剛性が成り立つ車両 足回りのノーマル基本構造をオープンクラスの範囲を超えて変更した車両 エンジンの搭載位置を変更した車両</p>
<p>フリー走行、スタート方法等</p>	<p>・耐久走行前のフリー走行時のベストタイム順を決勝のグリッド順とする。 (フリー走行のピットイン回数、およびドライバー選定は自由) ・フリー走行後、耐久走行までの間の給油は許される。 ・耐久走行スタートの要領 コースイン後1周回ってフリー走行のベストタイム順でグリッドに着く グリッド上ではリバースギヤは絶対に使用してはいけない(必要時は人力でバックさせること) 3分前ボード提示…ドライバー、オフィシャルを除く全ての者はコース上から退去する 1分前ボード提示…ドライバーは車両に着座した状態でエンジンを始動する メインポストでグリーンフラッグが振られたら、セーフティーカーに先導されながら順列を保ったまま1周する。セーフティーカーがピットロードに入ったらローリングスタートでレース開始。ただし、前車を追い越して良いのは管制塔前の計測ラインから先となる。</p>
<p>ピットイン</p> <p>右の規則に違反があった場合はペナルティーを課します。</p>	<p>ピットインは「義務ピットイン」と、「作業ピットイン」に分けられる。 1)「義務ピットイン」について ・3時間耐久の場合は、3回の「義務ピットイン」をしなければならない。(6時間耐久の場合は6回) ・「義務ピットイン」では、必ず4分以上ピットストップしなければならない。 どんな軽微な作業でも必ず4分以上ピットストップしなければならない ・車両の改造度合いによっては、ピットストップ時間のハンディータイムが加算される。 ハンディータイム対象の改造内容や加算時間については、車両規則を参照のこと。 ・「義務ピットイン」時の、ピットストップ時間の計り方は以下の通りとする。 ピットロードに入って管制塔を通過したら左レーンに入り21番ピット前で停止する。 21番ピット前で「開始時間」を書いた「タイムカード」をオフィシャルが発行し、ピットイン車両に渡す。 「タイムカード」を受け取らなかった場合は「義務ピットイン」回数としてカウントされない 指定ピットに移動して、給油、ピット作業を行う。(指定ピット場所は受理書送付と同時に案内) ピットロードにいるタイム監視オフィシャルに「タイムカード」を渡しスタート指示を待つ。 「開始時間」からカウントしてピットストップ時間が経過したら、指定ピットからスタートすることが出来る。(オフィシャルがチェックする) 2)「作業ピットイン」について ・「作業ピットイン」時は右側のピットロードを通行し、21番ピット前で「タイムカード」を受け取らず指定ピットに向かうこと。 ・「作業ピットイン」の回数は自由とし、ピットストップ時間も自由とする。 ・「作業ピットイン」時に出来る作業内容は、「義務ピットイン」と同じ。 ・改造度合いによって課されるピットハンディータイムは、作業ピットイン時には関係ない。 ピットレーンではリバースギヤは絶対に使用してはいけない(人力でバックさせること)</p>

2 一部車種を除く(大会規則最後尾の別表参照)

	<p>ピットストップ時間に余裕がある場合、人力で車両を動かして(退出し易い)車両の向きを変えることは許される。ただし指定ピット付近から移動してはいけない。 作業が長時間に及ぶ場合は屋根下ピットに入れて作業すること。</p>
給油	<p>右の規則に違反があった場合はペナルティーを課します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耐久走行中の給油は、必ず指定ピット前で行うこと。 ・給油者は給油作業前に、ピットに設置された静電気除去シートに触ること。 ・給油は金属製のガソリン携行缶を必ず使用すること。 樹脂製のポリタンクの使用は禁止 ・1度の給油は20Lまでとする。 ・給油者はフルフェイスヘルメット、グローブ、長袖長ズボンを装着のこと。 (ジェットヘルの場合は耐火性フェイスマスクを着用すればOK) ・給油中はエンジン必ず切ること。 ・給油中はドライバー交代(ベルト調整含む)以外の作業は全て禁止する。 (空気圧チェック、窓拭き、車載ビデオのバッテリー交換等も全て禁止) ・給油時は給油している横で消火器を持った消火要員を1名待機させ、消火器のノズルを給油口に向けて構えること。 ・水の入ったバケツをピットに置いておくこと。 ・消火器は粉末重量2.0Kg以上のものを1チームに1本持参すること。(車検時にチェックする) 給油作業の無いチームも消火器は必須
赤旗時の運営方法	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>競技中断の必要があるアクシデントが発生した場合は赤旗を提示してレースを一時中断する。</u> ・<u>赤旗提示後は追い越し禁止。</u> ・<u>赤旗が全バーストで提示されたら、全競技車両は追突に注意しながらすみやかに速度を落とし、スロウ走行すること。</u> ・<u>全車両はメインポスト横のスタートラインを先頭に、右側に寄ってストレート上に停車すること。</u> ・<u>メインポストで初めて赤旗を見た車両は、追突を防止するためにもう1周回ってから停車すること。</u> <p>・<u>赤旗(=「赤信号点滅」)が出たら、競技車両は以下の2通りの停止選択ができる。</u> <u>コース上に残って競技再開を待つ方法</u> <u>PITインしてピット又はピットレーンで競技再開を待つ方法 (ただし赤旗時のPITインは全て「作業ピットイン」扱いとなり「義務ピットイン」にはならないので注意すること)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>赤旗提示後のPITインは、全車「作業ピットイン」扱いとなるためタイムカードは配らない。</u> ・<u>ストレート上で待機している車両は、競技中断中にオフィシャルが指示し、暫定トップ車両を先頭に入れ替え(頭出し)を行う。コース上で暫定トップ車両よりも前に停車していた車は、SCが先導して1周回って隊列の後方に移動する。(このタイミングで作業ピットインすることも可)</u> <p>・<u>競技再開時はSCが隊列を連れて先導し、最終コーナーに差し掛かったところでSCがピットインして競技再開となる。この時前車を追い越してよいのは、管制塔前の計測ラインから先とする。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>SCがピットインした直後の車両より、義務ピットイン扱いが再開する。</u> ・<u>赤旗中断中にピットロードで待機していた車両については、SCがピットインした後に隊列が全てストレートを通過したタイミングでピットエンドシグナルが青となり、コースインが出来る。</u> <p>・<u>赤旗の原因となった車両は、車両破損の有無にかかわらず、必ず一旦指定ピットに戻らないといけない。(この際のピットインは、義務ピットイン扱いにはならない)</u> <u>赤旗前に既にピットインしていた義務ピットイン車両は、そのまま義務ピットイン回数としてカウントされる。</u></p>
コースアウト時の対処	<p>コースアウトしてレッカー移動された車両は、パドック最終コーナー側の洗車場に運ばれる。そこでジャリ、土を十分に落とした後に、コースインゲートよりピットロードに戻ることに。 ピットロード復帰時のピット作業は、『義務ピットイン』、『作業ピットイン』のどちらでも構わない。ドライバー交代、ピット作業は、必ず指定ピットで行うこと。</p>
装備品	<p>ドライバーは、「ヘルメット(SNELL規格又はJIS C種が望ましい)、グローブ(自動車ドライビング用で指先まで覆うもの)、厚手の長袖と長ズボン(レーシングスーツが望ましい)、運転に適したシューズ(レーシングシューズが望ましい)」を必着のこと。 レーシングスーツは安全上ダブルレイヤー以上のものが望ましい。</p>
準備必須品	<p>各チームは給油の有無に関わらず、下記の備品を必ず準備しピットに常備すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消火器(粉末重量2.0Kg以上) ・バケツ
ゼッケン	<ul style="list-style-type: none"> ・ゼッケンは各チームで準備すること。 ・ゼッケンは下記の4箇所貼り付けること。 ボンネット 左右ドア リヤ ・書体はゴシック体とし、1文字の大きさは、<u>は高さ240mm以上、幅120mm以上、太さ30mm以上。 は高さ120mm以上、幅60mm以上、太さ15mm以上</u>であること。 ・車体色に対して見えやすい色にすること。(ゼッケンが見えにくい車体色の場合は、白いゼッケンベースを貼り、その上に黒文字のゼッケンを貼る事) <p>ただし、昨年から継続参加で2008年の規格のゼッケンを貼付済みの車両については、2009年度に限り昨年の規格(<u>は200×100×25、 は100×120×13</u>)でも容認する。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・新年度の希望ゼッケン番号は、前年度の順位により優先権が与えられる。前年度参加歴の無いチームは申込み順に優先権を与える。 ・一度取得したゼッケン番号は、その年度は優先的に使用できる。 																																										
窓の開閉	サーキット走行中は運転席側の窓は閉めること。助手席および後部座席の窓は開けてもよい。ただしウインドウセーフティーネット(レース用として販売されている物)を運転席側に装着した場合は、窓を開けて走行することが許される。																																										
順位の認定および完走の規定について	<ul style="list-style-type: none"> ・順位認定は、コントロールライン上(ピットレーン上含む)でチェッカーを受けて最終周回を完了した車両に対して優先的に与えられる。 ・順位はチェッカーフラッグが振られた後に完了する周回数の多い車両から決定される。同一周回の場合は、フィニッシュライン(ピットレーン上含む)通過順位によるものとする。 ・チェッカーを受けられなかった車両のうち、(各クラスごとの)優勝車両の走行周回数の70%以上を走行した車両は、チェッカーを受けた車両の後に順位付けされる。 ・走行周回数が、(各クラスごとの)優勝車両の走行周回数の70%未満(端数切捨て)の車両は順位の認定を受けられない。(完走扱いとはならない) 																																										
賞典	<p>クラスごとに表彰を行ない、総合順位での表彰は行わない。 賞典の対象台数は各クラスの参加台数によって以下の通りとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>クラス参加台数</th> <th>1位</th> <th>2位</th> <th>3位</th> <th>4位</th> <th>5位</th> <th>6位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10台以上</td> <td>賞典</td> <td>賞典</td> <td>賞典</td> <td>賞典</td> <td>賞典</td> <td>賞典</td> </tr> <tr> <td>8~9台</td> <td>賞典</td> <td>賞典</td> <td>賞典</td> <td>賞典</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6~7台</td> <td>賞典</td> <td>賞典</td> <td>賞典</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4~5台</td> <td>賞典</td> <td>賞典</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3台以下</td> <td>賞典</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>賞典はトロフィーと副賞となる。</p>	クラス参加台数	1位	2位	3位	4位	5位	6位	10台以上	賞典	賞典	賞典	賞典	賞典	賞典	8~9台	賞典	賞典	賞典	賞典			6~7台	賞典	賞典	賞典				4~5台	賞典	賞典					3台以下	賞典					
クラス参加台数	1位	2位	3位	4位	5位	6位																																					
10台以上	賞典	賞典	賞典	賞典	賞典	賞典																																					
8~9台	賞典	賞典	賞典	賞典																																							
6~7台	賞典	賞典	賞典																																								
4~5台	賞典	賞典																																									
3台以下	賞典																																										
シリーズポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスごとの順位で毎戦ポイントを与え、1~4戦と選抜戦の合計をシリーズポイントとしシリーズ順位を付ける。 ・ポイントはクラスごとで、完走扱い車両の上位から10位までの車両に与えられる。 ・ポイントは下表の通りとする。 <table border="1"> <tbody> <tr> <td>1位</td> <td>20点</td> <td>6位</td> <td>6点</td> </tr> <tr> <td>2位</td> <td>15点</td> <td>7位</td> <td>4点</td> </tr> <tr> <td>3位</td> <td>12点</td> <td>8位</td> <td>3点</td> </tr> <tr> <td>4位</td> <td>10点</td> <td>9位</td> <td>2点</td> </tr> <tr> <td>5位</td> <td>8点</td> <td>10位</td> <td>1点</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・ポイントはチーム(代表者)に付くものとする。よってシーズン途中で車両の変更があった場合でも、チームとしてのポイントは継続する。ただし、クラスを変更した場合は継続出来ない。 ・合計が同ポイントの場合の順位は上位得点の回数の多い順に決定される。 なお、上位得点の回数が同一である場合は、最終戦時に獲得したポイントが高い順によって決定し、それでも決まらない場合はカウントバック方式により最終戦の前戦時、前々戦時・・・に獲得したポイントが高い順によって決定する。 ・当該レースにおいて失格した場合は、ポイントは獲得出来ない。 ・シリーズ順位上位チームは最終戦でシリーズ表彰をする。ただし各クラスの表彰対象は、1~4戦までの平均参加台数によって決まる。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>平均参加台数</th> <th>表彰対象台数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10台以上</td> <td>シリーズ6位まで</td> </tr> <tr> <td>8~9台</td> <td>シリーズ4位まで</td> </tr> <tr> <td>6~7台</td> <td>シリーズ3位まで</td> </tr> <tr> <td>4~5台</td> <td>シリーズ2位まで</td> </tr> <tr> <td>3台以下</td> <td>シリーズ1位まで</td> </tr> </tbody> </table> <p>平均台数は小数点以下切り上げとする。つまり平均3.1台の場合は4台と換算。</p>	1位	20点	6位	6点	2位	15点	7位	4点	3位	12点	8位	3点	4位	10点	9位	2点	5位	8点	10位	1点	平均参加台数	表彰対象台数	10台以上	シリーズ6位まで	8~9台	シリーズ4位まで	6~7台	シリーズ3位まで	4~5台	シリーズ2位まで	3台以下	シリーズ1位まで										
1位	20点	6位	6点																																								
2位	15点	7位	4点																																								
3位	12点	8位	3点																																								
4位	10点	9位	2点																																								
5位	8点	10位	1点																																								
平均参加台数	表彰対象台数																																										
10台以上	シリーズ6位まで																																										
8~9台	シリーズ4位まで																																										
6~7台	シリーズ3位まで																																										
4~5台	シリーズ2位まで																																										
3台以下	シリーズ1位まで																																										
再車検	走行終了後に上位車両は再車検の指示が出る場合がある。 再車検でオフィシャルより作業の指示が出た場合は、チーム員がその作業を行うこと。 再車検にてレギュレーション違反が発覚した場合は完走扱いにならない。																																										
順位ハンディー	<p>上位入賞チームは次戦にて以下のウエイトハンディーを課する。(選抜戦には適用されない) 次戦に不参加の場合は、次々戦には持ち越さない。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>クラスエントリー台数</th> <th>1位のチーム</th> <th>2位のチーム</th> <th>3位以下のチーム</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10台以上</td> <td>15kg</td> <td>15kg</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>4~9台</td> <td>15kg</td> <td>なし</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>1~3台</td> <td>なし</td> <td>なし</td> <td>なし</td> </tr> </tbody> </table> <p>ウエイトは下記の4つの中から選択し搭載すること 主催者が準備したウエイト(サイズ等は当事者に直接連絡) 参加者が準備したウエイト(自作品)</p>	クラスエントリー台数	1位のチーム	2位のチーム	3位以下のチーム	10台以上	15kg	15kg	なし	4~9台	15kg	なし	なし	1~3台	なし	なし	なし																										
クラスエントリー台数	1位のチーム	2位のチーム	3位以下のチーム																																								
10台以上	15kg	15kg	なし																																								
4~9台	15kg	なし	なし																																								
1~3台	なし	なし	なし																																								

	<p><u>参加者が準備したウエイト(テンパータイヤ 15Kg以上に調整必要)</u> <u>参加者が準備したウエイト(その車両の純正助手席+その車両の純正テンパータイヤ)</u> <u>については車検時に重量測定を実施する。(ウエイト単品で15kg以上あること)。</u> <u>については重量測定は実施しない(重さは問わない)</u> <u>ウエイトの取り付け位置は助手席下の床面か、テンパータイヤスペースとすること。</u> <u>のウエイトを使用するエントリーには、ウエイト寸法を予め告知するので、助手席取付ボルト穴位置までのステーを準備すること。</u></p>
選抜戦 (6h耐久)	<p>・選抜戦はK耐久とGT耐久の混走とする。 ・選抜戦での各クラスの参加台数率は、シーズン(第1～4戦)を通じての各クラスの参加台数の比率より算出し、申込受付期間前に発表する。 ・選抜戦へのエントリーの優先権は、シリーズポイント(第1～4戦の合計ポイント)上位のチームから順に与えられる。エントリー多数の場合はエントリー終了後に上位から選抜して受理を決定する。 ・あるクラスの参加台数率が定員に満たなかった場合は、他のクラスに定員を振り分ける。 ・申込多数により受理されなかったチームには、事務手数料630円を差し引きエントリー代を返金する。</p>

注1) 「KWT(軽自動車ワゴン&トラック)クラス」に該当する車種は下記となる
 このクラスはオープンクラスのみとなる。

スズキ	ワゴンR、パレット、エブリイ、キャリー、
ダイハツ	ムーヴ、タント、アトレー、ハイゼット
三菱	i(アイ)、タウンボックス、ミニキャブバン、ミニキャブトラック
その他のメーカー・車種では、以下の条件を満たすものを基本的にKWTクラスと見なす。 いわゆる軽トラック形状の車両、または メーカーカタログの全高が1600mm以上の車両 ただし下記のように例外もある	
ただし右記の車両はKWT クラスには該当しない	マイティーボーイ、アルトハッスル

該当車種についてご不明な点がございましたら事務局までご質問下さい。

注2) 「1C,1O,2C,2O,3C,3O,4C,4O クラスの該当車両について」

上記のクラスにおいては、以下の車両は量産箱型車と著しく性能差があると判断し、当該クラスには含まない(エントリー出来ない)ものとする。

- ・量産箱型車両とは著しく性能差があると判断される車・・・ロータスエリーゼ、エクシージ等
- ・箱型(モノコックフレーム)でない車両・・・スーパーセブン、ザウルス等
- ・その他主催者が上記に属すると判断した車両

【車両規則】

本規則に合致しない/守れない車両は失格となります。走行前の車検に通っても、再車検時に違反が発覚した場合はその日の成績抹消となりますのでご承知おき下さい。

昨年からの変更点には下線が引いてあり、ver.1での変更点は太字になっています。

§安全関係 (KRクラス以外)

ロールケージ	ロールケージの装着を強く推薦する。 オープンカーは4点式以上のロールケージを必ず装着すること。 <u>スチール製以外の脱着ルーフ/開閉ルーフの車両はオープンカーと見なす。</u> オープンカーは6点式以上のロールケージが装着されている場合に限りルーフを開けて(外して)走行することを認める。 ロールケージの装着を推進するため、装着の有無によってエントリー代に差を設ける。
シートベルト	4点式シートベルトを確実な方法で装着すること。 取り付けのためのボディー加工は可能だが、最小限にとどめること。
消火器	内容量2Kg以上の粉末消火器の搭載を強く推奨する。 取付方法はJAF国内競技車両規則を参照することを推奨する。
前後牽引フック	コースアウトしてバンパー下端までジャリに埋まった際に牽引出来る位置(下記又はの位置)に、前後ともに牽引フックを装着しなければならない。 バンパー下端より上の位置(ジャリに埋まっても見える位置) 又は バンパーの先端より外側の位置(この場合バンパー下端より下でもよい) ただし の位置の場合は、ジャリに埋まると牽引フックが隠れるため、フックの位置を赤、オレンジ、又は黄色の矢印で示すこと。 『純正牽引フックについて』 純正牽引フックは、バンパー下端までジャリに埋まった際に、すぐに牽引フックが目視確認できて、レッカー出来る位置にある場合のみ許される。ネジ込み式も可とする。 また、リヤに限りバンパーに穴を開けて、奥側にある純正牽引フックに手が届くような措置を取ることが許される。 牽引フックは2009年JAF国内競技車両規則に合致していることが望ましい。 牽引部は赤、オレンジ、黄色のいずれかに塗ること。
テーピング	ガラスレンズのライトには必ずテーピングをすること。(プラスチックレンズは不要) ただしライトの点灯を妨げないよう、全面を覆わないこと。
バッテリー	+端子はテーピングして覆うこと。(純正のゴムカバーも可だが簡単にめくれないようにテープで巻くこと) オープンクラスで搭載位置を車内に変更する場合は、必ずカバーを装着すること。
オイルキャッチタンク	ブローバイ経路を変える場合は大気開放は禁止とし、オイルキャッチタンクで受けること。 容量は2L以上を強く推奨する。
ウインドウネット	装着は自由。(運転席に装着した場合は窓を開けて走行することが許される) ネットはレース用として販売されている物、又は同等の強度品質を持つものに限る。ゴルフネットなどの使用は認められない。

§安全関係 (KRクラスのみ)

ロールケージ	パイプフレームの車両は、JAF車両規則に準じた主要ロール構造体と、第2ロール構造体を備えること。(主催者が危険と判断した場合は出走取り止めになる場合がある。) モノコック改造車は4点式以上のロールケージを必ず装着すること。
シートベルト	4点式以上のシートベルトを装着すること。(パイプフレーム車両は肩部ストラップ75mm以上の幅で、6点式が望ましい)
消火器	内容量2Kg以上の粉末消火器の搭載を強く推奨する。 消火器はドライバーが速やかに操作出来るように搭載しなければならない。 コックピット内とエンジンルーム内の2系統に同時に散布する構造が望ましい。
前後牽引フック	コースアウトしてジャリに埋まった際に牽引出来る位置に前後とも牽引フックを装着すること。牽引部は赤・オレンジ、黄のいずれかに塗ること。
ミラー	後方視界用のミラーを左右に備えなければならない。
灯火類	ヘッドライト、ストップランプ、リヤポジションランプを備えること。 パイプフレーム車両は第2ロール構造体最上部に、LED製デイルイト(白又は青)を備えること。またパイプフレーム車両は天候にかかわらず、ヘッドライトと第2ロール構造体のデイルイトを常時点灯すること。 リヤポジションランプは点滅も可。
テーピング	ガラスレンズのライトには必ずテーピングをすること。 ただしライトの点灯を妨げないよう、全面を覆わないこと。
バッテリー	+端子はテーピングして覆うこと。
オイルキャッチタンク	装着は自由。容量は2L以上を強く推奨する。 ブローバイの大気開放は禁止とする。

上記に記載の無い項目について安全対策を施す場合は、2009年JAF国内競技車両規則の、ナンバー無し車は「スピードSC車両規定」、ナンバー付き車は「スピードN車両規定」、KRクラス車は「スピードD車両規定」を参考にすること。

§ 改造関係 (KRクラス以外)

各クラスともナンバーの有無は問いませんが、ナンバー付きの車両は法規に触れないよう各自で自覚をもって改造をして下さい。車検にてクローズドクラスに合致しない改造が認められた場合は、オープンクラスに移行していただきますのでご承知願います。

昨年からの変更点には下線が引いてあり、ver.1 での変更点は太字になっています。

1) エンジン、駆動関係 (KRクラス以外)

	【オープンクラス】	【クローズドクラス】
エンジン本体	改造は自由。 【軽自動車】 ・同じメーカーの軽自動車用エンジンであればスワップ可。 ・軽自動車のエンジン本体を使用した排気量アップは許される。 <u>(白ナンバー登録軽自動車の参戦可能)</u> 【普通車】 ・同じメーカーのエンジンであればスワップ可。 ・ <u>排気量アップは許される。この場合オリジナルのエンジン排気量クラスへの参加となる。</u>	改造は禁止する。 オーバーホールは自由だが、使用する部品はそのメーカーの純正部品に限る。 (例)社外品メタルガスケット等の使用は禁止) <u>補修の範囲の排気量アップは許される</u> 【軽自動車】 ・オリジナルと同一形式のエンジンであればスワップ可。ただしナンバー付き車は車検適合していること。 【普通車】 ・オリジナルと同一形式のエンジンであればスワップ可。ただしナンバー付き車は車検適合していること。
ターボ (ターボクラスのみ)	交換、改造は自由。	【軽自動車】 ・同じメーカーの軽自動車用純正タービンであれば交換可能 【普通車】 ・同じメーカーの純正タービンであれば交換可能。
インジェクター	交換自由。	交換自由。
ECU (エンジンコントロールユニット)	交換、改造は自由。 追加コンピュータ、フルコンピュータの装着も自由。	交換、改造は自由。 <u>ただし追加コンピュータ、フルコンピュータ (Eマネジ、金P等)の装着は禁止する。</u>
ブーストコントローラ (ターボクラスのみ)	装着は自由。	装着は自由。
プラグ、 プラグコード、 パキュームホース	交換自由。	交換自由。
その他エンジン 補機類	交換、改造は自由。	純正品の使用に限る。
ラジエター、水配管、 サーモスタット、ラジエターFAN、インタークーラー	交換自由。 装着位置も自由。	交換自由。 ただし装着は純正と同じ位置に限る。 インタークーラーについては若干の位置の移動は認められる。
オイルクーラー	交換、追加装着自由。	交換、追加装着自由。
オイルフィルター	装着位置の変更、取り付けブロックの新設は自由。	装着位置の変更、取り付けブロックの新設は自由。
燃料タンク	安全タンクの装着が許される。 コレクターの装着も許される。	交換、改造は禁止。 コレクターの装着も禁止。
バッテリー	交換は自由。 搭載位置も自由。 <u>ただし車内に搭載する場合は必ずカバーを装着すること。</u>	交換は自由。 搭載位置の変更は禁止。
吸気系	交換、改造自由。	交換、改造自由。
排気系	自由。 <u>ただしいかなる車両も 110db以下であること。</u> 走行中に音量測定をします。	自由。 <u>ただしいかなる車両も 110db以下であること。</u> 走行中に音量測定をします。
ミッション、デフ、シャフト類	自由。	自由。

2) 車体関係 (KRクラス以外)

印の項目はビットストップ時間ハンディーの対象となります。

	【オープンクラス】	【クローズドクラス】
タイヤ	一般ラジアルタイヤに限る(スリック、Sタイヤ(別表1参照)は禁止) サイズは自由。ただしタイヤは車軸中心よ	一般ラジアルタイヤに限る(スリック、Sタイヤ(別表1参照)は禁止) サイズは自由。ただしタイヤは車軸中心よ

	り前方30°、後方50°の範囲内でフェンダー等より突出していないこと。	り前方30°、後方50°の範囲内でフェンダー等より突出していないこと。
ホイール	サイズ含め自由。ただしホイールは車軸中心より前方30°、後方50°の範囲内でフェンダー等より突出していないこと。スパーサーは使用しないことを強く推奨する。ホイールナットは自由。	サイズ含め自由。ただしホイールは車軸中心より前方30°、後方50°の範囲内でフェンダー等より突出していないこと。スパーサーは使用しないことを強く推奨する。ホイールナットは自由。
足回り	交換・改造は自由。ただし基本構造の変更は禁止。((例)ストラットをダブルウィッシュボーンに変更することは禁止)	交換・改造は自由。ただし基本構造の変更は禁止。((例)ストラットをダブルウィッシュボーンに変更することは禁止)
ブッシュ類	ピロ化を含め自由。	強化ゴム化は自由。ウレタン化は禁止。ピロ化はサスペンションアッパーマウント部のみ許される。
ブレーキ	システム全て交換は自由。冷却ダクトの装着は許される。	パッド、シュー、ローター、ラインの交換は自由。キャリパー、ドラムは自動車メーカー純正品に限り交換が許される。冷却ダクトの装着は許される。
前後ライト	取り外しは禁止。同一型式系車種の物への交換は許される。全ての灯火類は正常に作動すること。	取り外しは禁止。また元の車種の物が装着されていること。全ての灯火類は正常に作動すること。
外板類(ボンネット、トランク、バックドア、ドア、フェンダー)	外板類の材質変更は自由。形状の変更は最小限に留めること。ただし同一型式系の車種の外板に限り変更することが許される。 ただし樹脂性のトランク、バックドア、フェンダー-いずれか1つでも装着している車はピットハンディー+0.5分。 ボンネットはハンディー対象外	外板類はボンネットのみ材質変更が許される。形状の変更は車検に通る範囲内であること。
外装類(ウイング、エアロパーツ、前後バンパー)	ウイング、エアロパーツの交換、装着は自由。バンパーの加工、交換は自由。グリルの交換、改造は自由だが取り外しは禁止。	ウイング、エアロパーツの交換、装着は自由だが、車検に通る大きさであること。バンパーの加工、交換は自由。グリルの交換、改造は自由だが取り外しは禁止。
オーバーフェンダー	装着または叩き出しが認められるが、幅によって以下のハンディータイムが与えられる。 片側 ~1cm未満の拡幅 ハンディーなし 片側 1cm以上~3cm未満の拡幅 ハンディー+0.5分 片側 3cm以上の拡幅 ハンディー+1分	装着は禁止する。 ただし、ノーマルフェンダーを手で引っ張り出したレベルのもの、フェンダーの爪折りは許される。
窓	材質の変更は自由。	全箇所ともガラス製であること。
ミラー	交換は自由。取り外しは不可。	交換は自由。取り外しは不可。
シート	交換は自由。取り外しも自由。	交換は自由。取り外しも自由。
内装	運転席、助手席のドアは内張りがあること。その他は取り外し自由。	フロアカーペット、アンダーコート、およびルーフの内張りの取り外しは自由。その他見える範囲の内装、内張りは全て付いていること。(純正の内張りが無い場合は代替物で覆い金属パネルが見えない状態にすること)
エアコン、ヒーター	取り外しは自由。	取り外しは自由。
追加メーター、ラップチェッカー、データロガー	装着は自由。	装着は自由。
補強バー類	溶接での装着も含め自由。	ボルトオンでの装着に限り自由。
ボディー本体	箱型モノコック構造の車両であること。モノコックの補強は自由。ただし純正パネルの改造は最小限にすること。パイプフレーム化は禁止。KWTクラスでエンジンが荷台に飛び出す場合はカバーで隠すこと。トラック車両は荷台のあおりを外すことが認められる。	箱型モノコック構造の車両であること。モノコックの補強は自由。純正パネルの改造は禁止する。パイプフレーム化は禁止。

§ 改造関係 (KRクラス)

1) エンジン、駆動関係 (KRクラス)

[KRクラス]	
エンジン本体	軽自動車用550cc～660ccのエンジン本体を使用すること。(ターボ付き可)
その他エンジン関連部品	自由
排気系	自由。ただしいかなる場合も110db以下であること。 走行中に音量測定をします。
駆動系	自由。ただしバックギヤを有すること。

2) 車体関係 (KRクラス)

[KRクラス]	
ボディー本体	パイプフレーム、アルミノコックフレームが許される。 パイプフレームの場合はスチール製パイプを使用し、メインパイプは1インチ(25.4mm)以上の外径を持つこと。(丸パイプであれば 35以上 t2.0以上、角パイプであれば30×30以上、t1.6以上の物を推奨する) また生産モノコックを改造してロールバー等のパイプで車体の剛性を持たせることも許される。
ボディー形状	タイヤがカウルの中に納まる形状をしていること。 オープンホイール(フォーミュラ)車両は認められない。ただしタイヤ部分がサイクルフェンダ等で覆われていればOKとする。
タイヤ	一般ラジアルタイヤに限る(スリック、Sタイヤ(別表1参照)は禁止) サイズは自由。ただしカウルからはみ出していないこと。
ホイール	サイズ含め自由。ただしカウルからはみ出さないこと。 スペーサーは使用しないことを強く推奨する。ホイールナットは自由。
足回り	ノーマルの基本構造の変更を含めて改造自由。((例)ストラットをダブルウィッシュボーンに変更するような改造も自由)
前後ライト	ヘッドライト、ストップランプ、リヤポジションランプを備えること。パイプフレーム車両は第2ロール構造体最上部に、LED製デイライト(白又は青)を備えること。全ての灯火類は正常に作動すること。またパイプフレーム車両は天候にかかわらず、ヘッドライトと第2ロール構造体のデイライトを常時点灯すること。
その他	前述の安全規定、改造規定を満たしていれば、その他の改造については自由とする。 不明な点があれば主催者まで相談すること。

別表1(使用禁止のタイヤ)

メーカー	銘柄
ブリジストン(POTENZA)	RE520S、RE540S、RE55S、RE11S
ヨコハマゴム(ADVAN)	A021、A032、A038、A039、A048、A049、A050
ダンロップ(FORMULA-R、DIREZZA)	D93J、D98J、D01J、02G、D03G、RSV98
トーヨータイヤ(PROXES)	FM9R、08R、R881、R888、R1R

上記タイヤ以外でも主催者が判断した場合は使用禁止となる。

不明な点がありましたら下記までご質問下さい。

【お問合せ先】

〒438-0073 静岡県磐田市二之宮東14-17 (株)GT CAR プロデュース内「GT走行会事務局」担当 高原
電話 0538-37-6677 FAX 0538-37-6678 E-mail info@gt-produce.com

公式HP <http://www.gt-produce.com/>